

# 述懷

種田山頭火

青空文庫



——私はその日その日の生活にも困っている。食うや食わずで昨日今日を送り迎えている。多分明日も——いや、死ぬるまではそうだろう。だが私は毎日毎夜句を作っている。飲み食いしないでも句を作るとは怠らない。いいかえると腹は空いていても句は出来るのである。水の流れるように句心は湧いて溢れるのだ。私にあつては生きるとは句作することである。句作即生活だ。

私の念願は二つ。ただ二つある。ほんとうの自分の句を作りあげることがその一つ。そして他の一つはころり往生である。病んでも長く苦しまないで、あれこれと厄介をかけないで、めでたい死を遂げたいのである。——私は心臓麻痺か脳溢血で無造作に往

生すると信じている。

——私はいつ死んでもよい。いつ死んでも悔いない心がまえを  
持ちつづけている。——残念なことにはそれに対する用意が整う  
ていないけれど。——

——無能無才。小心にして放縱。怠慢にして正直。あらゆる矛  
盾を蔵している私は恥ずかしいけれど、こうなるより外なかつた  
のであろう。

意志の弱さ、貪の強さ——ああこれが私の致命傷だ！

（「広島逋友」昭和十三年八月）





# 青空文庫情報

底本：「山頭火随筆集」講談社文芸文庫、講談社

2002（平成14）年7月10日第1刷発行

2007（平成19）年2月5日第9刷発行

初出：「広島逋友」

1938（昭和13）年8月

入力：門田裕志

校正：仙酔あびす

2008年5月19日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.azora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。



# 述懐

種田山頭火

2020年 7月13日 初版

## 奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>